

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年3月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300864
法人名	有限会社 うえの福祉会
事業所名	グループホーム うえの
所在地	鹿児島県鹿屋市上野町5200番地1 (電話) 0994-40-3181
自己評価作成日	平成23年2月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年2月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当施設では、季節行事として、夏祭り、敬老会、クリスマス会等に外部からの踊りの慰問を迎えて、盛大に行われ楽しい時間を過ごして頂いています。月々には、誕生会や喫茶コーナーの日を設けて好きな飲物やケーキ等をいただきながらカラオケ、踊りを楽しんでいます。又、同敷地内に作業療法士がおり、勉強会をしながら残存機能を活かす為のアドバイスをしてもらっております。日々の入浴として一般入浴もありますが、車椅子使用の方々でも安心して湯船につかりリラックスして頂くために特殊浴槽も完備しております。特殊浴槽導入により、スタッフの腰痛軽減にもつながり大好評です。又、同敷地内にある大浴場での温泉入浴を月1回実施しています。今後も、ご家族様と共に手を取り合って利用者様が喜んで頂ける支援を目指してスタッフ一同頑張ります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

高齢者のさまざまなニーズに応えるための、複数の施設を有しており、個々にあった専門的なケアがなされている。

利用者の身体状況に合わせた特殊浴室が完備されており、利用者はゆっくりと湯船に浸かって、リラックス感を味わって楽しんでいる。

管理者や職員は利用者の喜ぶ事を探究しながら、ケアの向上を目指している。

地域の行事に積極的に参加したり、地域住民へ敷地や会議室を提供するなど、地域との関わりを大切に交流を深めている。

毎月発行している「ハッスルだより」は、写真をふんだんに取り入れ、利用者や家族に好評である。

食事や掲示物など、手作りする事をモットーに、みんなで飼育しているポニーと一緒に楽しく日々を送っている家庭的なグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・理念「家族や地域住民との時間を大事にします」を日頃唱和し、実践に心がけている	開設当初より地域密着型サービスの意義をふまえた理念がある。玄関やホール・トイレに理念を掲示し、毎週月曜日のミーティング時に唱和したり会議時に確認し合い、日々のケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・一大行事として夏祭りを実施地域の真ん中の広場をイメージして会場設営し、地域の方との交流図り、日常に繋げている	町内会に加入し、回覧板を届けたり、地域の夏祭りや運動会・グランドゴルフ等に参加している。ホーム行事に地域住民やボランティアの参加がある。小中学生の体験学習等も受け入れている。地区住民の会議時にホームを提供し日常的に交流を深めている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・施設の一部について、災害等発生時地域の高齢者等に活用して頂く事想定し、日頃からその方向性について考察している		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・定期的（年6回）実施し、施設の現況や利用者の状態、ご家族への広報について説明行い、意見を伺っている	行政職員や地区住民・家族等の参加を得て定期的に開催している。町内放送でホーム行事参加の呼びかけやボランティアの要請・災害時の避難場所として提供する等の意見が出されるなど、サービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>・市町村との連携を重要事項として認識して実施している</p>	<p>行政担当職員がホームの行事に参加し、実情を把握している。ホームの運営やサービスについてその都度相談しながら助言等をもらい、連携に取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>・開放的で入りやすい事も考慮して玄関の設錠は夜間除いて行う事はない。その他虐待に当たる事項についても理解深めて行ける様努めている</p>	<p>勉強会等で事例検討や身体拘束廃止についての研修を行い、身体拘束のない自由な暮らしを支援している。玄関は施錠のない自由な暮らしが保たれている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・職員が自主的に、また職員会議での内部研修で「虐待の防止」について学べる様に取り組実施している</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>・考慮しているが、一部職員がその役割を担っている現状であり、全職員に知識と実践共有できる様に努めて頂く</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>・法に基づく書面、口頭での説明行い、相互理解に努めている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>・運営推進会議などの公の場だけでなく日頃の生活の中、及び面会の方の声を汲み取れる様な雰囲気作りに努めている</p>	<p>家族等の面会や電話連絡・行事参加時に要望や意見を聞くようにしている。利用者の日記帳より要望を察し、要望や意見等は職員と話し合い運営に反映させている。苦情箱も設置している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>・職員会議、ケース会議での意見・提案やアンケートの実施にてその機会を作り、反映に努めている</p>	<p>管理者は職員会議やケース会議・リーダー会議等で、意見やアイデアを聞いている。利用者の食事形態や入浴介助の用具や取り付けなどや入居者受け入れの相談など、運営に反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>・職員個々の声に耳を傾け、環境や条件の整備に繋げられる様に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・内部研修及び外部勉強会へさんかの場を提供し、職員の介護技術向上に努めている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・法人内の各施設の交流の場は提供しているが、同業者との職員間のネットワークについては、その形を現在考察している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・本人の意向をできるだけ、伺いながら会話を通して何を要望しておられるのか把握して安心できるように声掛している</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・家族の要望に答えられるように対応して不安の軽減に努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・今、必要としている事を暫定プランで作成している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・本人様に自分の家で過ごしていると思ってもらえるように努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・利用者との会話を大事にし心の通い合う関係作りに努めている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・夏祭りや敬老会などに参加を呼びかけ共に参加して頂いている	個別の希望に応じて、墓参りや知人宅訪問など支援している。また敷地内にあるデイサービス利用者との交流も積極的に行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・本人のペースにあわせて生活出来る様に見守りながら互いに助け合い楽しく生活を送れるよう努めている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・病院入院の場合はHPのSWや相談員に相談し、家族の方との連携に努める		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・意思疎通の出来る方は聞き、日常での生活の状況で把握するように努めている、思いを伝えられない」方も表情とかで意向を組み取るようにしている	利用者との会話に心がけ、会話の内容や表情などから思いをくみ取るように心がけている。家族等からの情報も聞いている。日記帳も参考に、思いや意向を職員で共有し応えている。困難な場合は、本人の思いを職員で話し合い支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入所時にフェイスシートで詳しく聞き取りを行う		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・朝の申送り、スタッフ間の連携ケアプランチェック表の活用で把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・ケース会議、ケアプランの各自の評価、担当者会議、本人意向、家族意向に基づき計画作成している	本人や家族等の意向を重視し、職員からの情報でカンファレンスを行い、日常のケース会議や担当者会議で利用者主体の介護計画を作成している。個別の記録が充実しており、状況の変化にあわせて作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・ケア実践は、ケアプランに毎日実施した項目をチェックしている、その中でこのサービス内容の見通しの必要な所はケア会議行う		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・デイサービスでの温泉浴、足湯、行事でのショートステイ、デイサービス、有料老人ホームとの交流を行っている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・野里小学校での運動会参加や慰問、民生委員、町内会長さん方の協力を頂き楽しみのある生活が出来るように支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・係り付け医での往診、受診、訪問看護利用して適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診や往診の継続支援を行っている。訪問看護ステーションのバックアップ体制も整っており、適切な医療支援が行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・利用者状態チェック日報、排泄表や職員からの情報にて早目の受診、医師等への相談を心がけている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>・面会細目に行いご家族や医療機関との情報交換を密に行い、相談、関係作りを行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・利用者様の段階に応じご家族が納得されるまで出来る事、出来ない事を十分説明の上、医師協力の基取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期について施設としての方針を掲げ、重度化や看取り実施の方向で動いている。対応の必要な利用者について、家族等や主治医・看護師と常に話し合いを行い、職員も方針を共有している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・職員会議での内部研修や外部での研修等にも参加し、また、緊急時マニュアルを作成し備え準備している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・火災に対し年2回の避難訓練と毎月の職員会議利用しての凶上シュミレーションを実施したり避難訓練時、地域に呼びかけ参加をして頂くよう声かけしている</p>	<p>年2回の昼夜間想定で定期的な避難訓練を行っている。毎月の職員会議で防災について話し合い、自主訓練をしている。災害時の避難場所としてホームを提供する事や地区住民の協力体制の話し合い等を行い、安全確保が構築されている。調理器具はIH器具を使用している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・個人情報やプライバシーは確保されている	職員の意識向上を図るため、尊厳についてや個人情報保護についての勉強会をホームで行っている。系列事業所の全体会議での勉強会にも参加している。利用者の誇りやプライバシーを損ねないようにさりげない言葉かけや対応を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・本人のペースで生活出来るように見守り、声かけ支援を行っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・本人のペースを大切にしている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・身だしなみ、髪、服やおしゃれが出来る様に声かけ支援を行っている。散髪はスタッフが行い、家族の方がお願いされた方が来所される		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・季節の物を取り入れた料理を出している、野菜の下ごしらえや片付けなど出来る方は手伝って頂いている	利用者の嗜好や身体状況に合わせた食事形態などに配慮している。ホームの菜園と一緒に作った野菜を収穫しての料理も作っている。下ごしらえや後片付け等、役割を持って職員も一緒に食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日報に記録し食事摂取状態を把握している、飲まれない方には本人の好きな飲物を出している。 ・糖尿病患者様に対する、主治医による指示により血糖値の日内変動を測り、主治医との連携を図り食事療法等でのコントロールで改善がみられる 		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎食後、口腔ケアを行い義歯や口腔状態を観察している、週に1回以上ポリデント消毒している 		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・排泄管理表を用いて声かけ誘導介助を行い失禁がない様に取り組んでいる 	<p>排泄管理表でパターンを把握し、困難要因をチェックしながら、個々の排泄介助の支援を行っている。オムツ等の使用頻度が減少するように支援に取り組み、家族等に喜びが得られている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食物の工夫（毎朝の牛乳、おやつにサツマイモ類を取り入れる）水分摂取の声かけをこまめに行う 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・週3回の入浴と月1回の温泉浴を大変喜ばれている、体調に合わせて入浴の順番、温度調整を考慮して行っている	週3回の入浴日が決められているが、利用者の希望や身体状況に合わせて特殊入浴室が設置されている。月1回は温泉入浴や気軽に足湯など、利用者の満足のいく入浴支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・音楽や楽器を活用しリハビリ体操、歩行訓練、下肢運動等昼間身体を動かし昼夜逆転にならない様に努めている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・職員同志確認を徹底し間違いのない様にしている、薬の保管は鍵付の棚に直し、直前に出すようにしている、また薬の変更は口頭と連絡帳で行い間違いのない様に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・外食、ドライブ年間に取り入れ、誕生会、喫茶コーナーなど行事含め楽しい時間を作る様に心掛けている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	・利用者の希望のそっての外出支援は出来ないがご家族の協力と地域行事参加の声掛を頂、楽しまれている、今後も家族や地域の方々と協力しながら外出支援を行いたいと思う	日常的に散歩やホーム前庭での外気浴などを行っている。また、地域の行事に参加したり、外食や花見・ドライブ・温泉・墓参り等、本人の希望を聞きながら、外出の機会作りを工夫し、閉じこもらない支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・現在、1人であるが、お金の管理出来ている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・年賀状、暑中見舞いなど出して様子を知らせている。 電話を頂いている</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・毎日の掃除を徹底して行き気付いたらすぐに行き気持ちよく過ごして頂ける様心がけている 生花教室を利用して利用者の方に思い思いに生けて頂き季節の花を楽しまれるよう工夫している</p>	<p>高い天井と明り取り窓、換気・温湿度・音などに細やかな配慮が行き届き、清潔である。庭の椅子やホールのソファ、畳のスペースなど、随所にくつろげる場所がある。玄関やホールに花や季節の行事の装飾があり、居心地の良い共用空間である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・リビングソファにてテレビ観賞、会話を楽しんでいる、足マッサージも実施し気持ち良いと喜ばれている。天気の良い日を利用して外気浴をしながら、お茶や歌を唄って過ごされている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・本人の使っていたタンス、家族との写真、プレゼントされた人形、造花などを利用者の意見を聞きながら過ごしやすい様に工夫している</p>	<p>タンスや椅子・ラジオ・置き時計・家族写真・ベット等、馴染みの物やお気に入りの物が持ち込まれている。居室入り口に分かりやすい表札を掲げる等、それぞれ個性のある居室作りになっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・日常生活の中で残存機能を活かせる様に声かけ、見守り行いながら、自分の出来る事を行って頂いている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない